



PORSCHE

08. Nov. 2016

Vol.123/16

ポルシェ 919 ハイブリッドがポール・トゥー・ウィンにより
マニュファクチュアラーズタイトル獲得

FIA 世界耐久選手権 (WEC) 、LMP1、第 8 戦、上海 (中国)

ポルシェ AG (本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：Dr.オリバー・ブルーメ) は、上海において今シーズン 6 勝目とマニュファクチュアラーチャンピオンシップのタイトル防衛成功を祝いました。全 9 戦で競われる FIA 世界耐久選手権 (WEC) の第 8 戦で優勝したのは、ポールポジションからスタートしたティモ・ベルンハルト (ドイツ) / ブレンドン・ハートレー (ニュージーランド) / マーク・ウェバー (オーストラリア) 組です。もう 1 台のポルシェ 919 ハイブリッドをドライブしたドライバーチャンピオンシップ首位のロマン・デュマ (フランス) / ニール・ジャニ (スイス) / マルク・リーブ (ドイツ) 組は、6 番手スタートから 4 位でフィニッシュしました。ハートレーは、1 周 5.451 km の上海インターナショナルサーキットで 1 分 45 秒 935 のファステストラップを記録しました。また、この 6 時間レースはドライコンディション、気温約 23°C の下で行われました。

カーナンバー1 のレース展開：

ハートレーがポールポジションからスタート、ダブルスティントをこなした後、60 周を終えて首位でベルンハルトに交代します。ベルンハルトもダブルスティントで走行した後、首位を守ったまま 120 周でウェバーにクルマを託しました。150 周終了後ハートレーが再びドライブし、195 周でフィニッシュし優勝を果たしました。

カーナンバー2 のレース展開：

6 番手からスタートしたジャニが着実に順位を上げダブルスティント (59 周) を終えて 2 位の位置でリーブと交代します。80 周目、リーブがカーナンバー6 トヨタに 2 位ポジションを奪われます。89 周終了後、デュマがドライブしますが、109 周目、激しいバトルの末カーナンバー5 トヨタに抜かれ、4 位ポジションで走行を続けます。119 周を終えて、再度ジャニがクルマに乗り込みました。滞りないピットストップの後、再びカーナンバー5 トヨタの前に出ます。カーナンバー6 トヨタが 134 周後に予定外のピットストップを行ったことで、先頭を走行するもう 1 台のポルシェに続く 2 位ポジションに再浮上しました。その後、カーナンバー5 トヨタとのバトルが始まりました。ジャニはレース終了までコックピットに留まり、4 位でフィニッシュしました。

レース後のコメント：

チーム監督であるアンドレア・ザイドルのコメント：「ポルシェのために、再びマニュファクチュアラーチャンピオンシップのタイトルを獲得できて爽やかな気分です。これは、地元ヴァイザハと、各サーキットでレースに関わったチームのメンバーひとりひとりの功績です。そして、私達のパートナーのおかげです。このタイトルは、速く、信頼性の高い車両と、強力なチームのパフォーマンスの結果です。上海では、私達はポールポジションを獲得し、ファステストラップを打ち立て、常に最速で、最高のピットストップを行い、適切な作戦を用い、最高の

ドライバー達がステアリングを握りました。私達には、このタイトルを手にする十分な資格があると思います。バーレーン最終戦ではドライバーチャンピオンシップタイトルの獲得を目指します」。

ポルシェ 919 ハイブリッド（カーナンバー1）のドライバーのコメント

ティモ・ベルンハルト（35 歳、ドイツ）：「今日すばらしいレースができました。ブレンドンがいいスタートを切ってくれたので、リードをさらに広げることができました。私は 2 番手のドライバーとしてダブルスティントを担当しました。小林可夢偉がドライブするカーナンバー6 トヨタは、本当に手強かったです。非常に多くのラップで、トラフィックが障害でした。周回遅れのクルマをオーバーテイクするとき、攻撃的になることと、守りに回ることを常にバランスさせる必要がありました。私達 3 人が、またレースで優勝できてとても嬉しいです」。

ブレンドン・ハートレー（26 歳、ニュージーランド）：「すばらしい日になりました。スタート後の最初のコーナーが興味深かったです。トヨタは電気モーターで大量のエネルギーを使ったようで、第 1 コーナーへの飛び込みまでに私を簡単に抜き去りました。しかしレギュレーションで使えるエネルギーの量が規定されているので、彼らはその代償を払うことになることがわかっていました。セーフティカー導入直前には再びトップに立ちました。ファーストラップではちょっとしたバトルを楽しみましたが、その後はクリーンな走りに徹して 18 秒のリードを築きクルマを渡しました。大きなラバーの塊によってライトを損傷したので、ノーズを交換しなければなりませんでしたが、ピットストップはすばらしく、最後のダブルスティントではすべてがスムーズに運びました。私は、この上なく幸せです」。

マーク・ウェバー（40 歳、オーストラリア）：「今日のブレンドンはすごく速かったですし、ティモのダブルスティントも素晴らしいものでした。私はシングルスティントを担当して使用済みのタイヤを片付け、ブレンドンがフィニッシュしました。ポルシェにとってすばらしい日となり、私達がそれに貢献できてとても嬉しいです」。

ポルシェ 919 ハイブリッド（カーナンバー2）のドライバーのコメント

ロマン・デュマ（38 歳、フランス）：「非常に厳しいレースでした。私は 3 番目のドライバーとしてシングルスティントを担当しました。何度かひどいトラフィックに阻まれ、タイムロスしました。また、タイヤのピックアップ現象にも最後まで悩まされました」。

ニール・ジャニ（32 歳、スイス）：「6 番手グリッドからスタートして、トラフィックの中でのポジション取りを意識して戦術的にドライビングし、ブーストはアタックが必要なときに備えて取っておきました。これが上手く行きました。クルマは絶好調で前に行くライバル達を次々に捕らえることができました。3 位のポジションにいるとき、ちょっと苦労しました。トラフィックで接触があり何秒かロスしてしまいました。それでも、私はダブルスティント後に 2 位でクルマを渡すことができました。残念ながら、レース中盤ではタイムをロスしました。私は最後にもダブルスティントを担当しましたが、そのときはクルマの調子が前ほどよいと感じませんでした。次は、2 週間後のバーレーン最終戦でドライバーチャンピオンシップに挑む番です」。

マルク・リーブ（36 歳、ドイツ／ルートウィヒスブルク）：「ニールの次に 2 番手としてドライブしましたが、私のスティントはあまりよくありませんでした。最初、ひどいトラフィックに巻き込まれ、その後も常に周回遅れの車両を抜かなければならず、フロントタイヤをダメ

にしまいました。フロント両側のグリップがなくなり、常にアンダーステアが出ていました」。

＜本件に関する読者からのお問い合わせ先＞
ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911
ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.com/japan/>